

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	キリスト教倫理	教員氏名	坂井 悠佳
学年	2年	開講学期	後期
授業形態	講義	単位数	2単位
必修・選択	卒業必修	実務経験	中学校高等学校教員、大学研究員 10年
テーマ	キリスト教を土台とした倫理を学ぶ。		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する	○
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>本科目は、1年前期「キリスト教概論」、1年後期「キリスト教保育」、に続く本学の特色のある学びの基盤となるキリスト教関連科目の一つであり、後の専攻科「キリスト教社会倫理」につながる基本的学びである。2年生後期に社会人として、また保育福祉職に就く者として、現代思想に通底するキリスト教信仰と保育や福祉との関連についての学びを深め、より豊かな「愛と奉仕」の精神性を身につける。</p> <p>この授業では、キリスト教信仰に基づく現代の倫理について学び、倫理的思考力を養い、具体的状況においてキリスト教倫理が何を提示するのかを考える態度を身につけ、保育・福祉の担い手としての自己形成に資する。併せて、グループディスカッションやディベート等のグループワークを通して、倫理的主体として自ら考え、他者と共に行動する姿勢を育む。研究員としての研究活動を活かして学術的水準を保った講義を提供し、中学校高等学校教員の経験を踏まえて主体的な学習の助けとなる方法を用いた授業を行なう。</p>		
授業の到達目標	キリスト教に基づく倫理の基本的な考え方を説明できる。		
	キリスト教倫理の考え方を基本として、自らの立脚点を定め、具体的な状況における倫理的判断ができる。		
	自らの意見を表現し、他者と分かち合い、討議し、よりよい方向へと到達する道筋を探ることができる。		
テキスト	『聖書』（旧約聖書と新約聖書の双方が収録されたもの。日本聖書協会刊行の新共同訳聖書の用語により講義する）。その他に講義資料を配付する。		
参考書	適宜紹介する。		
ポートフォリオ	授業時に配付された資料、作成した課題やレポートをファイリングして活用する。		
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする		○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する		○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める。		
	ICTを活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する。		
	その他： 小レポートをリアクションペーパーに準じた扱いとして対話や授業で活用する。		
成績評価方法	区分	割合(%)	内容
	定期試験	0	実施しない。
	授業内課題参加度出席態度等	80	授業時に適宜提出する小レポート(50%)、授業中のグループワーク等の学習活動(10%)、講義に関連する学期末レポート(20%)
	その他	20	教会出席(状況によってはオンラインも可)レポート、チャペルアワーレポート

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	キリスト教信仰に基づく倫理とは何か。	
	授業外学習	授業後:小レポートを作成する(小レポートについては第1回授業時に説明する)。	210分
第2回	テーマ 内容	人格形成、人権尊重	
	授業外指示	授業前:人間、人格に関する聖書の記述を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第3回	テーマ 内容	愛と赦し、そして癒し	
	授業外指示	授業前:指定された聖書箇所を読み、小課題に取り組む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第4回	テーマ 内容	真理とは何か	
	授業外指示	授業前:指定された聖書箇所と配付資料を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第5回	テーマ 内容	倫理と規範 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第6回	テーマ 内容	性認識・世代認識とその役割	
	授業外指示	授業前:配付資料を読む。 授業後:小課題に取り組む。	210分
第7回	テーマ 内容	キリスト教信仰とジェンダー(1)諸外国の女性史を中心に	
	授業外指示	授業前:配付資料を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第8回	テーマ 内容	キリスト教信仰とジェンダー(2)日本の女性史を中心に	
	授業外指示	授業前:配付資料を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第9回	テーマ 内容	キリスト教信仰とジェンダー(3)現代社会の課題に向き合う (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうディスカッションの準備を行なう。 授業後:小レポートを作成する。	210分

第10回	テーマ 内容	職業、その召命感と使命感 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前: 授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後: 小レポートを作成する。	210分
第11回	テーマ 内容	祈りの生活	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 小レポートを作成する。	210分
第12回	テーマ 内容	生かされているということ	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 学期末レポートの準備をする。	210分
第13回	テーマ 内容	共に生きる(平和の創造)	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 学期末レポートを作成する。	210分

#### 課題に対するフィードバックの方法

提出課題については、コメントを付して返却する。授業中のグループワーク、ディスカッションで取り上げられた内容も含め、クラス全体で共有すべき事柄を含むものについては、授業内で紹介する、説明を加えるなどの対応をする。